

クチコミ の チカラ

イノベーター理論 を活用して

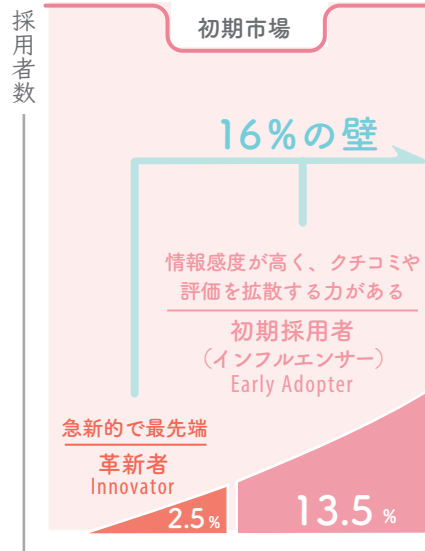
イノベーター理論って？

イノベーター理論とは、新しいもの・サービス、ライフスタイルなどの、市場における普及率をあらわすマーケティング理論のことです。採用するタイミングが早い順に市場を5グループに分類し、前2グループを初期市場、後3グループをメインストリーム市場といいます。

初期市場とメインストリーム市場の間にはキャズム（chasm）と呼ばれる深い溝（普及の分水嶺）があり、ここが全体へ普及させる障害になります。この溝を超えるポイントが初期採用者（インフルエンサー）で、この層が持つ拡散力が発揮されることで全体への波及効果が期待できます。

市場を“地域”に置き換えて

市場を地域の住民に置き換えると、初期市場の「革新者」は医療者や公的機関にいる正しい情報を発信できる人たちです。情報を浸透させるポイントになる「インフルエンサー」とは、健康意識の高い健康普及員や食かいさん、既に子宮頸がんやワクチンのことを知っている情報感度の高い住民のことです。メインストリーム市場に当たる多くの住民に情報を浸透させ、行動に繋げていくには、いかにインフルエンサーのみなさんに情報を伝え、そのクチコミ力を発揮してもらうかがポイントです。



3種類いずれも1年以内に接種を終えることが望ましい

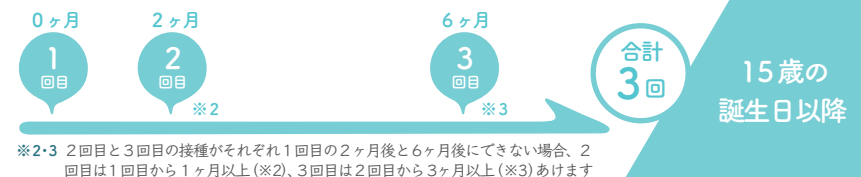
9価ワクチン

シルガード9の接種スケジュール

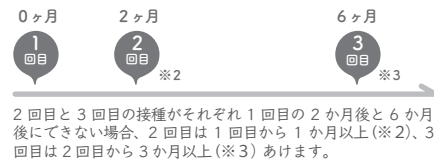
1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合



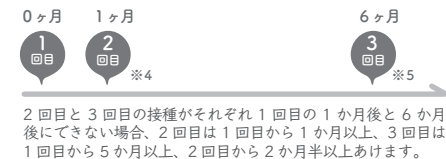
1回目の接種を15歳になってから受ける場合



4価ワクチン / ガーダシルの場合



2価ワクチン / サーバリックスの場合



HPVワクチンは男性も 接種した方が良いですか？

HPVは男性から女性にも、女性から男性にも移行します。男性においては中咽頭がんや肛門がんなどがHPV関連がんであり、これらは最近増加傾向です。男性も接種することで集団免疫が形成されやすくなり、女性・男性共にHPV感染予防効果が高まります。

※ただし、日本では現時点で男性においてはHPVワクチンは自費での接種のみで、公費での定期接種は導入されていません。（いくつかの自治体を除きます）

集団免疫をつけ、男女ともにがんを予防するため男性のワクチン接種は有効です

HPVは子宮頸がんだけでなく、男性を含めその他がんの原因にもなります

女性のみ
外陰がん・膣がん
子宮頸がん

男性のみ
陰茎がん

男女共に
肛門がん・中咽頭がん

※中咽頭がんは男性に多い